

<申請時> 生成AI活用促進事業 2026年4月~2027年3月実施予定 (とくしま産業振興機構)

<事業計画申請時>

✓ 地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェック ✓ してください。

【課題】

・本県中小企業は、慢性的な人手不足とコスト増に直面しているが、突破口となり得る生成AIの利活用は、「何から着手すべきかわからない」というノウハウ不足がボトルネックとなり、進んでいない。

【本事業の内容】

生成AI活用促進事業 (A事業)

本格的なAI導入に向け、導入前企業を対象としてリスクリテラシー教育と実践的な導入実証支援を3段階の階層的支援プログラムにより実施

ステージ1 機運醸成・リテラシー確立

セミナー・ワークショップの開催により、「漠然とした不安」を「管理可能なリスク」へと認識転換させ、能動的に「まず使ってみる」機運を醸成

ステージ2 特定業務でのPoC

AI分野の専門家を現場へ派遣し、業務の棚卸しやAI適合領域の診断を実施し、特定部門でのPoCを実施

ステージ3 本格的なAI導入の第一歩

特定部門での業務フローの見直し (生成AI前提のプロセス再構築) やRAG活用型・業務特化エージェント等の実装、導入効果測定を助成

【目的】

・文脈理解や論理推論に長けた生成AIを「高度な判断支援機能」としてDX基盤に実装。
・「信頼できるAI」の活用モデルを県内に確立し、労働生産性の抜本的向上と高付加価値業務へのシフトを実現。

【都道府県の施策との連携・親和性】
県の令和8年度当初予算「生成AI活用促進事業」として、県からも補助を受けて実施する事業であり、県との連携事業も含め、県の施策にも合致している。

【結果ならびに成果の目標】

- 直接的成果目標：
 - ・対象業務処理時間を平均30%削減
 - ・成功モデル業務を10例以上創出
 - ・成功モデル企業を1社以上創出
- 間接的成果目標：
 - 徳島新未来創生総合計画(R6年度版) 未来技術活用製品等研究開発支援件数 20件

【波及効果の目標】

成功事例のみならず、直面した課題やリスク対応の教訓も含めて体系化し、「徳島モデル」として県内他企業へ広く横展開することにより、県内中小企業の「AI実装力」を底上げし、単純作業等の低付加価値業務をAIに代替させ、人間がより創造的で働きがいのある業務に従事できる環境を創出する基盤を構築する

【将来の支援目標】

- 間接的成果目標：
 - 徳島新未来創生総合計画(R6年度版) 未来技術活用製品等研究開発支援件数 R6年度~R10年度 100件 (累計)

中小企業基盤整備機構

【支援メニュー】

- ・原価管理診断
- ・生産工程スマート化診断
- ・ハンズオン支援 (専門家派遣) ...etc.

専門家による各種経営支援

個別支援

ものづくり企業DX加速化事業 (県予算事業)

コーディネーターによる相談対応、個別支援

コーディネーターによるきめ細やかなる
伴走支援

国補助金の活用
本格的なAI導入

連携